

「『親の力』をまなびあう学習プログラム」  
を持続可能な取組としていくために  
～ファシリテーターの果たす役割を中心に～

ぼれっとひろしま

広島県立生涯学習センター

振興課 主任 松田 愛子



はじめに

## はじめに

家庭環境の多様化・地域社会の変化



**「家庭教育」が困難な社会**

- ★広島県教育委員会では、  
「家庭教育支援」のツールとして  
「親の力」をまなびあう学習プログラム  
(通称「親プロ」) を開発・普及



## 研究のねらい

- 「親プロ」発展・普及の鍵を握る「親プロ」ファシリテーターの果たす役割を中心に、取組の現状を整理する。
- 「親プロ」を持続可能な取組としていくための方策と今後の展望を考察する。

## 主な発表内容

- 1 家庭教育支援の動き
- 2 「親プロ」の概要と事業経過
- 3 「親プロ」ファシリテーターの概要
- 4 持続可能な取組のためのシステムづくりに向けて
- 5 展望（10年後の目指される姿）

# 1

## 家庭教育支援の動き

## 家庭教育支援の動き①

親の親としての“育ち”を支援する  
**「親学習プログラム」**が注目  
先行的に主に欧米を中心に  
開発・実施



日本向けにアレンジされて導入

- 【例】 **Nobody's Perfect**プログラム  
(完璧な親なんていない)【カナダ】  
**Positive Parenting Program** (トリプルP)  
【オーストラリア】

## 家庭教育支援の動き②

自治体による  
**「親学習プログラム」**の開発

- 【例】 栃木県：親学習プログラム  
富山県：親を学び伝える学習プログラム  
山梨県：やまなし「親」学習プログラム  
滋賀県：語り合いを通じた親育ち  
大阪府：「親」をまなぶ、「親」をつたえる  
兵庫県：ひょうご親学習プログラム  
「ゆっくりゆったり親育ち」  
和歌山県：本音でトーク！  
鳥根県：親学プログラム

## 2

# 「親プロ」の 概要と事業経過

### (1) 平成18～19年度の取組

- **文部科学省委託事業**  
**「家庭教育支援総合推進事業」**
- **「親の教育力を高めるプログラム  
開発検討委員会」の設置**  
【検討委員】  
学識経験者，行政関係者，社会教育関係者，  
PTA関係者 など
- **「親の力」をまなびあう  
学習プログラムの開発**

「親の力」をまなびあう学習プログラムの開発

このプログラムでいう「親の力」とは・・・

## 2つの子育て力が一体となった力

子育て力Ⅰ  
子どもに対して  
第一義的責任を  
果たす力

子育て力Ⅱ  
社会の一員として  
子どもを育成する力

＝ 人を育てようとする人なら誰もが持っているであろう“親心”から発せられる力

「親の力」をまなびあう学習プログラムの開発

## 子育て段階に応じたプログラム

### ●身近なエピソードをもとにした内容

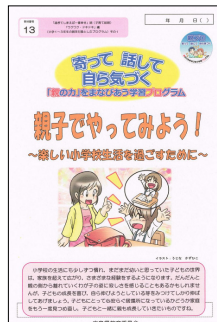
【対象】 中学・高校生などの青少年、まもなく親になる人  
0歳児～小学校3年生の親  
小学校4～6年生・中学・高校生の親  
中高年などの子育て支援者



### ●学習のすすめ方



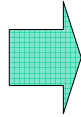
### ●ワークシート（教材）



「親の力」をまなびあう学習プログラムの開発

## 寄って、話して、自ら気づく「参加型」

講演を聴くなどの  
従来の「講義型」  
の学習方法



参加者が  
“学びの主体”となる  
「参加型」の学習方法

子育てを振り廻り学びあう中で、親が「自ら気づき」「自ら学べる」力を！

★このプログラムに「正解」はありません。

うちとける



簡単なゲームを通  
じてリラックスし  
た雰囲気に。

話し合う



思いや意見をグル  
ープで出し合い、  
考えを広げます。

気づく



話し合いをふりか  
えり、「気づき」  
が生まれます。

## (2) 平成20～22年度の取組

### ● 単県事業

### 「家庭教育応援プロジェクト事業」

#### ● (出前) 講座の実施

- ・ 幼稚園、保育所、小学校、  
中学校の保護者懇談会・PTA研修会
- ・ 子育て支援センター、公民館の家庭教育講座
- ・ 子育てサークル・サロン など



出前講座(保育園)

#### ● ファシリテーター 養成講座の開催

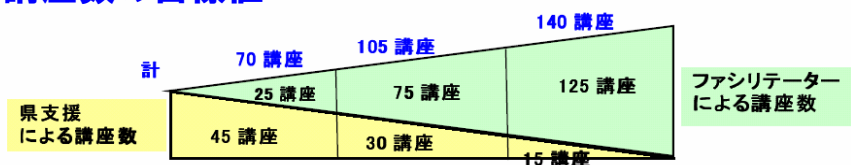
#### ● 市町単位のファシリテーター 交流会の開催 など



養成講座(修了証渡し)

## 事業の経過（平成20～22年度）

### ●講座数の目標値

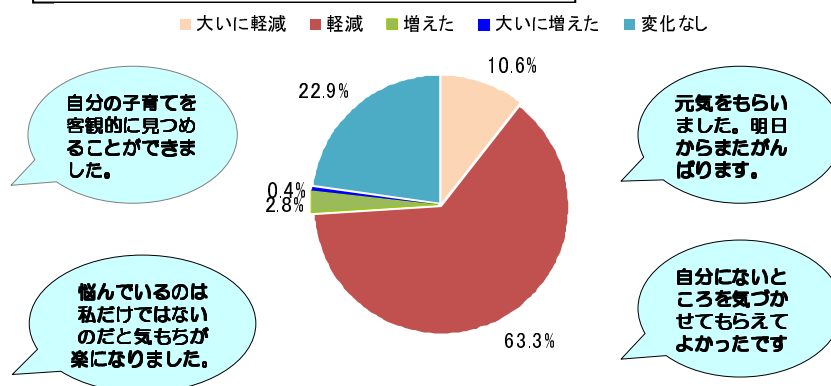


### ●実績

項目		20年度	21年度	22年度	計
講座数	県支援	102件	27件	17件	146件
	ファシリテーター	6件	130件	117件	253件
	計	108件	157件	134件	399件
参加者数		2,730人	3,026人	2,943人	8,699人
ファシリテーター養成数	県	67人	61人	40人	168人
	市町	6人	58人	61人	125人
	計	73人	119人	101人	293人

## 講座参加者の声

### 子育て等に関する不安や悩みの変化



（平成20～22年度講座実施後のアンケート結果から）

⇒ 7割を超える参加者が子育ての不安が軽くなったと感じている。



### (3) 平成23～25年度の取組

#### ● 単県事業 「家庭教育支援事業」

市町における取組への“支援”にシフト

- ファシリテーター  
「ステップアップ」研修
- 市町が主催する  
ファシリテーター  
養成講座への支援
- 新たな「場」の開拓
- 現代的課題に対応した  
新規開発教材の開発  
(携帯電話, 父親の子育て, ワークライフバランスなど)



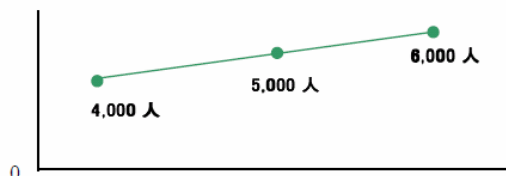
ステップアップ研修



小学校の入学説明会で  
(新たな場の開拓)

### 事業の経過 (平成23～25年度)

#### ● 参加者数の目標値



#### ● 実績

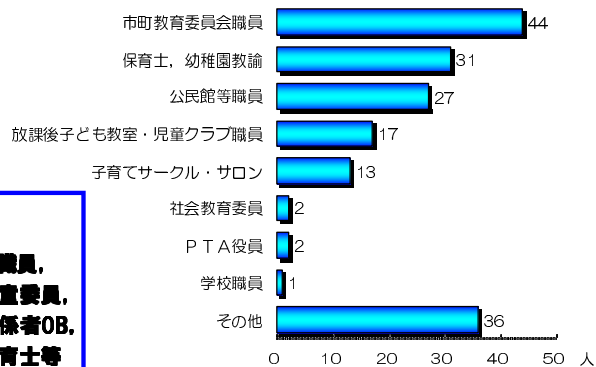
項目		23年度	24年度 (予定含む)	25年度	20～24年度計
講座数	県支援	16件	35件		197件
	ファシリテーター	160件	193件		606件
	計	176件	228件		803件
参加者数		4,235人	5,084人		18,018人
ファシリテーター養成数	県	—	—		168人
	市町	74人	135人		334人
	計	74人	135人		502人

# 3

## 「親プロ」 ファシリテーター の概要

### (1) ファシリテーターの属性

#### ● 「親プロ」ファシリテーター養成講座修了者の職種等



**その他**  
NPO等の子育て支援団体職員、  
児童・民生委員、主任児童委員、  
母子保健推進員、学校関係者OB、  
警察職員、将来教員や保育士等  
をめざす大学生、主婦 等

【参考】平成22年度「第1回学習プログラム検討委員会」会議資料

➡ さらに地域の多様な人材を巻き込みながら、  
地域に根付いた「**地域の住民力**」を活かした活動へ

## (2) ファシリテーターの果たす役割

### ● ファシリテーターとは？

人々の活動が容易にできるように支援し、  
うまくことが運ぶように舵取りをする役割を持つ人

ファシリテーション (Facilitation) Facilitateはラテン語でeasyを意味する  
「**ことを容易にする、楽にする、促進する**」という英語の原意

### ● 「(親プロ) 学習のすすめ方」の視点

- ① 学習者の「自ら気づきまなぶ力」を引き出しましょう
- ② 語り上手ではなく、聞き上手になりましょう
- ③ 力の均衡 (パワーバランス) を大切にしましょう
- ④ コーディネーターでもあります
- ⑤ 深刻な問題は関係機関を紹介しましょう
- ⑥ いろいろな人の存在を意識しましょう。

## 「親プロ」ファシリテーターへの期待①

### ● 草の根活動を広げ

### ● 地域の教育力を高める

### ● 地域の「**キーパーソン**」として (重要な人)

「親プロ」ファシリテーター

≡ **専門家 (スペシャリスト)**

地域で温かく子育て家庭を見守る

「**おとな**」(近所のおじさん・おばさん)たちの**応援**

➡ **地域全体の教育力向上へ**



小学校の地域公開参観・教育講演会で

## 「親プロ」ファシリテーターへの期待②

- 多様な「親の力」を結び付ける
- 「コーディネーター」として

地域の中に、  
お互いに信頼し合えるネットワーク  
(仲間づくり)を形成

人から元気をもらったり、人に元気をあげたり、支えあって育ちあうことが大人になっても大切。  
(ファシリテーターの声)

親自身が一步踏み出す「勇気」

つなぎ役・調整役



孤立化した家庭を開き、  
地域とのつながりを作る

支える体制(仕組み)

## 「親プロ」ファシリテーターへの期待③

- 心に寄添い、共感をもって励ます
- 「メンター」として

答えを求めるのではなく、親の気持ちを楽にできる架け橋の役割ができれば。  
(ファシリテーターの声)

子育てを支援する人からのプレッシャー

「支援する側の考えは一樣ではありません。

子育てサポートステーションで

『親のわがままではないのか』

『もっと母親がしっかりすればいいのに』

という思いを持つ人も少なからずいます。

出口のみえないトンネルをさまよう心境の

母親に寄添って、ともに歩くような支援を」



聖泉学園大学大学院 大日向雅美教授

# 4

## 持続可能な取組 のためのシステム づくりに向けて

### (1) 地方自治体と行政職員の果たす役割

**地域の実情に応じた具体的な家庭教育支援の取組を各自治体が、それぞれの家庭教育支援に係る施策や教育計画のもと、責任をもって進めていくことが重要。**



中学校の地区懇談会で

## ●市町の役割

- 住民の最も身近な行政機関として
- 家庭や地域の具体的なニーズを的確に反映
- それに応じた家庭教育支援を日常的に実施
- 地域の様々な関係者・機関との取組を  
コーディネートする中心的な役割を担う

### 【具体例】

- 「親プロ」講座の企画・実施
- 「親プロ」ファシリテーターの養成
- 人材養成に必要な地域人材の発掘と活動のコーディネート  
(地域の多様な力の結集)
- 地域の様々な関係者・機関との連携・調整
- ファシリテーターの組織化と運営のサポート
- 調整や合意形成を図る場としての協議会や  
委員会等の組織化・運営等

## ●県の役割

- 広域的な観点から
- 地域の家庭教育支援の取組を活性化するための  
仕組を整備

### 【具体例】

- 現代的課題に対応したプログラムの開発や改善
- 新たな「場」の開拓、新たな手法の開発
- 取組事例の収集・検証→モデル的取組の普及啓発
- 市町におけるファシリテーター養成への支援
- 養成したファシリテーターの資質向上と  
県域のネットワークの構築促進
- その他、広域的な関係者のネットワーク構築促進
- 市町や地域の様々な主体に対する情報提供、  
助言、その他必要な支援

## (2) ファシリテーターのネットワーク

ファシリテーターの悩みや疑問を  
乗り越えるための**知恵や力**



**同じ仲間同士の学びあいと交流**

「親プロ」活動の継続・充実

- ファシリテーター自身の  
学びと交流によるスキルアップ
- 仲間との信頼関係づくり **が不可欠**

## ●市町域でのネットワーク

- 親プロ「講座」の**打合せ**（役割分担など）
- ファシリテーター仲間の**情報交流**
- 市町主催によるファシリテーターの  
「**研修会**」や「**交流会**」の開催
- **ファシリテーターグループの結成**
  - ・ 定例会の開催
  - ・ 「親プロ」講座の主催
  - ・ 広報宣伝などの積極的・主体的な活動 など

## 先進事例①

### 尾道市「すまいるぱれっと」

- 活動の経緯
  - ・平成19～22年度 6名が「親プロ」ファシリテーター養成講座修了
  - ・平成20年度～ 尾道市の家庭教育講座等でファシリテーターを務める
  - ・平成22年9月 ファシリテーターグループ結成
  - ・平成23年4月 グループ名を尾道市家庭教育応援プロジェクトチーム「すまいる ぱれっと」と命名し活動中。
- 活動内容
  - ・定期的な会議の開催
  - ・オリジナルワークシート（尾道プログラム）の作成
  - ・講座の展開案や役割分担についての打ち合わせ
  - ・広報用リーフレットの作成、広報活動
  - ・独自研修会「スキルアップ講座」など



定例会



「親プロ」講座（中学校）

## 先進事例②

### 世羅町「Pくらぶせら」

- 活動の経緯
  - ・平成22年度 町主催によるファシリテーター養成講座開催
  - ・平成22年度 県主催による養成講座修了者とともに（14名）ファシリテーターグループ「Pクラブ せら」を結成
- Pとは... ペアレント、プログラム、パワー
- 活動内容
  - ・講座前の打合せ会議及び講座後の反省会の実施
  - ・チームでの「親プロ」講座の進行
  - ・「親プロ」講座主催「おとうさんの子育てトーク！」（後援：町教委）など



打合せ会議



中学校での講座



主催講座  
（おとうさんの子育てトーク）



## ●県域でのネットワーク

### 県主催

ファシリテーターステップアップ研修  
での出会い・情報交流



市町域を超えた県域の  
緩やかなネットワークの広がり

- 県内の先進地域のファシリテーターの集まりに  
他市町のファシリテーターが合流
- 互いの活動を見学・支援 など

市域を超えたファシリテーター同士の直接的な交流

## 「学びあい」と「支えあい」

広島県版 「メイン」ファシリテーター  
「親プロ」の特長 「サブ」ファシリテーター  
の役割分担

一人では困難でも、  
仲間とならやれる

➡ 若い「親」たちにとって  
人と人との信頼関係づくりのロールモデル  
「私もこうありたい」「こんな仲間を作りたい」

【モデルケース】安芸郡府中町の事例  
「得意なこと」を持ち寄って



「子育て支援センター」等の職員（「親プロ」ファシリテーター）が、講座中の「託児」を担当

# 5

## 展 望

### 10年後の 目指される姿として

(1) 「支援される側」から「支援する側」へ

子育て支援の“受身”としての「親」

**エンパワメント**



子育てを“支援”する次世代の「力」

- 親が自ら“主体的に課題解決”をしていくことできる学びの機会の確保
- “学びと支援が好循環する”  
仕組みの構築

「してあげる支援」から「力を引き出す支援」へ

“してあげる” 支援



親が親自身の力で育っていくための  
“力を引き出す” 支援

学びと支援の好循環

【モデルケース】 東広島市の事例

小学校内に併設されている  
公民館施設の**社会教育指導員**が、  
「**支援者**」となり、  
“参加者” だった **保護者の有志グループ**が  
「**親プロ**」ファシリテーター活動を開始



東広島市  
三ツ城コミュニティハウス

次世代の支援者へ“知恵”をつなぐ

ファシリテーターの養成を  
“**先輩**” ファシリテーターが  
「**支援**」

〇〇さんを目指し  
てがんばります！  
(養成講座修了者)

いろいろな人との  
出会いがあり、気  
づきや励ましも与  
えられました。  
(養成講座修了者)



ファシリテーター養成講座（呉市）

実践から生み出された  
ファシリテーターの  
“**知恵**” を  
次世代の支援者へつなぐ

## (2) 「親プロ」の限界を越えて

「親プロ」ファシリテーターの声

届けたい人に、届けられない

本当に困っている親は  
学びの場に出てこない

「**学習機会の提供**」を基本とする  
「親プロ」の活動



「**本当に困難な家庭には届かない**」  
という“**限界**”

## つながりにくい家庭に支援をつなげる

「**広く全国の市町村で専門家がチームを構成して支援する**  
など、**身近な地域におけるきめ細かな家庭教育支援の取組**  
が実施されるよう促す」

教育振興基本計画(平成20年7月閣議決定)

「**家庭教育を行うことが困難になっている孤立しがちな家**  
**庭や親へ支援を届ける取組(アウトリーチ)を推進して**  
**いくことが課題です**」「**(支援のネットワークを広げ**  
**る)家庭教育の支援の取組を、学校や地域における、**  
**NPO等による様々な教育支援活動の取組と連携しながら**  
**進めていくとともに、教育分野の取組と保健福祉分野の**  
**取組の連携・協力を図る仕組みづくりが重要です。**」

「家庭教育支援の推進に関する検討委員会報告書  
『つながりが創る豊かな家庭教育』(平成24年3月)

## 広島県内の事例

### ● 向東地区家庭教育支援チーム 「親ちから」（尾道市）

地域の様々な関係機関と連携しながら、  
家庭教育に関する情報提供や、  
家庭教育講座の企画運営等を行う。

### ● 県教育委員会「学力向上総合対策事業」 家庭教育支援アドバイザーの配置

家庭の学習環境に課題のある児童生徒の  
学力向上を図るため、保護者に直接ある  
いは関係機関を通じて働きかけを行う。

## ネットワーク型行政の推進

「今後、社会教育行政は、**地域住民同士が学びあい、教えあう相互学習等が活発に行われるよう環境を醸成**する役割を一層果たしていくことが必要（中略）このため、今こそ、従来の『**自前主義**』から**脱却**し、社会教育施設間の連携の強化のみならず、**首長部局・大学等・民間団体等と連携**して、**地域住民も一体となって協働**して、『**ひらく・つながる・むすぶ**』といった機能を様々な領域で発揮する、『**社会教育行政の再構築**』（**ネットワーク型行政の推進**）を実施していくことが必要」

「第6期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」（平成25年1月）

**他主体との連携・協働が「鍵」**

## 様々な主体との連携・協働

- 「親プロ」の“限界”と  
“ポジショニング”を明らかにする  
(全てを抱え込まない)

## 様々な主体と連携・協働

縦軸 (誕生から自立までの全ての発達段階において)

横軸 (多様化するすべての子育て家庭において)

切れ目のない支援へ

## (3) 持続可能な社会の実現に向けて

- ファシリテーターのネットワークグループが
- 様々な主体とつながりながら 「親プロ」の枠組みを  
超えて
- 地域の家庭教育支援を担う  
NPO団体等として自立・成長

### 連携・協働のネットワーク

### 「ソーシャル・キャピタル」の創出

(社会関係資本)

- 住民と行政との協働による
- 「親プロ」を核とした新しい家庭教育支援の  
仕組みの構築

「安心して産み喜びを感じながら育てられる社会」  
＝ 「次世代を育成する持続可能な社会」を実現

**ご清聴ありがとうございました**



## 参考資料

- ①家庭教育支援の推進に関する検討委員会「つながりが創る豊かな家庭教育～親子が元気になる家庭教育支援を目指して～」2012年3月
- ②堀公俊, 加留部貴行「教育研修ファシリテーター」2010年10月
- ③中野民夫ほか「ファシリテーション 実践から学ぶスキルとところ」2009年4月
- ④(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究調査本部共生社会づくり政策研究群「親学び応援施策のあり方報告書」2010年3月
- ⑤「第6期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」2013年1月
- ⑥大日向雅美監修「子どもを愛せなくなる母親の心がわかる本」2007年
- ⑦研究代表者 和歌山大学地域連携・生涯学習センター・准教授・村田和子ほか「地域の子育て支援力の形成と強化に関する検討」
- ⑧財団法人 日本システム開発研究所「平成20年度 家庭教育の活性化支援等に関する特別調査研究 報告書」2009年3月